

## 内部統制が利益の質および裁量行動に与えた影響

### Does J-SOX have an impact on Earning Quality and Earning Management? –Evidence from Japan–

中島真澄（福島学院大学）

本報告の目的は、内部統制報告規制（J-SOX）が日本企業の利益の質および裁量行動の変化に影響を与えたかどうかを解明することである。本研究では、内部統制報告書において「重要な欠陥」を開示した企業（重要な欠陥開示企業）と、業種と規模で選択したペアサンプルを比較させながら、利益の質として会計発生高、裁量的発生高、キャッシュフロー予測精度の3つを、裁量行動として会計的裁量行動と実体的裁量行動の2つを用いて検証する。

本分析の結果、次のことが明らかとなった。(1) J-SOX以降、コントロール企業、重要な欠陥開示企業とも、会計発生高の質、キャッシュ・フロー予測精度が改善されている。(2) コントロール企業の裁量行動は、J-SOX前後における変化はみられないが、重要な欠陥開示企業の裁量行動は、J-SOX以降、会計的裁量行動、実体的裁量行動とも増加傾向にある。

先行研究にたいする本研究における特徴は、次の3つを指摘することができる。まず第1に、J-SOXの有効性について特に内部統制報告規制の目的の1つである、会計発生高の質、キャッシュ・フロー予測精度などの利益の質が改良したかどうかに着目して明らかにしている点である。第2に、本研究は、経営者の裁量行動の意図についての判別方法を適用して、J-SOX前後における日本企業の裁量行動の意図の変化を提示する点である。重要な欠陥開示企業は、会計的裁量行動、実体的裁量行動がともに増加傾向であった一方、ペアサンプルの裁量行動に変化はみられなかった。このペアサンプルの結果は、当該企業経営者が裁量行動の意図を変化させた結果なのかどうかを分析する。第3には、日本の内部統制報告規制の効果に関する証拠は国際的にもそれほどまだ蓄積されていないが、内部統制報告規制前後における利益の質および裁量行動の変化に関する日本企業の証拠を提示している点である。

**Keywords** : 利益の質 ; 裁量行動 ; 会計発生高の質 ; キャッシュ・フロー予測精度 ; 内部統制報告規制 (J-SOX); 機会主義的意図 ; 情報伝達の意図